

業種別景況予測

2021年1月～3月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概況			
寝装 りビング			「繊維業界の中では比較的堅調に推移してきたが、2月以降の見通しが立たない状態である(原料販売業)」「消費の動きが鈍く、催事も開催されないため在庫が増えている(製造販売)」とのコメントが寄せられた。			
織維 ファッション			「今春の商品も不調であり、見通しが悪い(繊維加工業)」「緊急事態宣言発令で経済の影響が出るであろう(製造販売)」「新しい年を迎えたが先行きが見通せず、さらに、2月予定の商談も全然進まないため、先行き不安である(繊維加工業)」とのコメントが寄せられた。			
工業			「特にコロナでの影響はないが、原材料(鉄鋼材)の値上がりが急激である(鉄鋼材加工業)」「順調に回復しているが新型コロナウイルス感染拡大が増加しているため、今後は心配である(鉄鋼材加工業)」「再び緊急事態宣言が発令されたため、急な工事の中止が多く発生し影響を受けている(機械補修業)」とのコメントが寄せられた。			
建設			「少額工事は先延ばしになる傾向にある」「景気悪化の中にもかかわらず中国需要の影響で、鉄骨、鉄筋など材料価格が高騰している」「建築関連もコロナの影響で減少しており、2月以降の先行きが不安である」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「低価格の日用品が好調で住宅関係資材や建設に係わる部品等は低調である(倉庫業)」「コロナ対策をしないと仕事ができなくなる危機感はある(運送業)」「緊急事態宣言による消費動向や商社・問屋関係の動きを注視したい(倉庫業)」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「給付金の申請などの相談が増加し、コロナ禍で顧客の経済状態が悪化している(土業)」「コロナ対策等のコンサルティングの需要があり、業界全体の動向・現状は良好である(コンサルタント業)」「コロナ禍で、高齢者の遺言書への問い合わせが増えており、それに伴い依頼がある(土業)」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「お客様の動向が読めず、売上の良い日と悪い日の差が激しい(洋菓子製造販売)」「患者様が医療機関に行かず医療機関も薬剤の処方日数を通常より長くしているため、処方箋枚数・売上ともに減少している(調剤薬局)」「飲食店向けの販売は減少したままであり、個人向けも減少傾向にある(精肉小売業)」とのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「在宅訪問介護事業者は毎日必死で体調管理を行い、仲間と励まし合いながら利用者様宅での介護に努めている(介護業)」「昨年12月よりGO TO キャンペーン停止で申込がなくなった(旅行業)」「テレワークを進める会社のシステム開発が増えてきている(ソフトウェア開発業)」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 令和3年1月 ●調査対象企業 270社 ●回答数 148社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111